

令和5年度 横浜市水道事業会計及び工業用水道事業会計 決算(速報値)の概要について

水道事業会計

水道料金収入は前年度比 2億円の増、純利益は82億円を確保

(1)水道料金収入の増

5年度の水道料金収入は、前年度に比べて税込で2億円(0.2%)増の766億円となりました。

使用水量は、新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の解消が進み、主にご家庭で使われる口径13～25mmは前年度に比べて365万 m^3 (1.1%)減少しました。一方、大型商業施設や宿泊業など主に事業用で使われる口径40mm以上では179万 m^3 (3.3%)増加しました。

○ 水道料金収入の状況(税込み) (単位:億円)

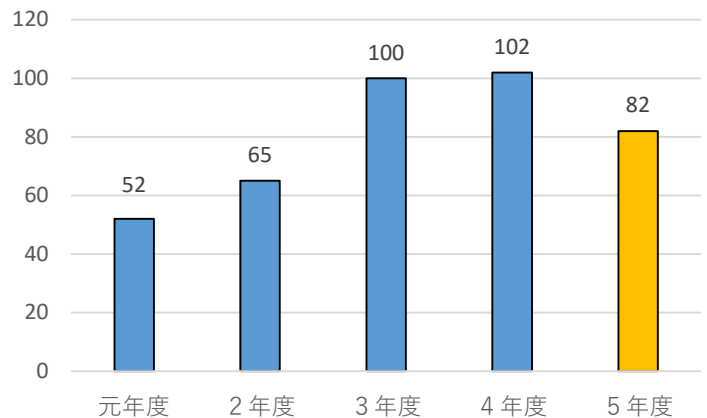
区分	5年度	4年度	増△減
水道料金収入 (使用水量)	766 (3億7,281万 m^3)	764 (3億7,467万 m^3)	2 (△186万 m^3)
うち口径13～25mm (使用水量)	529 (3億1,637万 m^3)	536 (3億2,002万 m^3)	△7 (△365万 m^3)
うち口径40mm以上 (使用水量)	237 (5,644万 m^3)	228 (5,465万 m^3)	9 (179万 m^3)

(2)純利益の確保と累積資金残額の増

純利益は、支出について労務単価の引上げや物価上昇等により修繕費が9億円、委託料が5億円増加したほか、西谷浄水場の水処理の制限運用により企業団受水費が4億円増加したため、前年度に比べて20億円減の82億円となりました。

また、累積資金残額は、翌年度への繰越工事が減少したことにより前年度に比べて34億円増加し、252億円となりました。

○ 純利益の推移 (単位:億円)



(3)企業債残高の増

西谷浄水場再整備事業が本格化したことにより施設整備費が増大したため企業債残高は前年度に比べて73億円増加し、1,656億円となりました。

○ 財政状況 (単位:億円)

	5年度	4年度	増△減
純利益	82	102	△20
累積資金残額	252	218	34
企業債残高	1,656	1,583	73

工業用水道事業会計

(1)工業用水道料金収入

5年度の工業用水道料金収入は、前年度に比べて0.6億円(2.2%)減少し、27.8億円となりました。

(2)純利益の確保

純利益は、前年度に比べて0.9億円減少し、6.4億円となりました。

また、累積資金残額は、前年度に比べて6.8億円減少し、30億円となりました。

(3)企業債の活用

施設整備費が増大したため前年度に比べて1.9億円増加し、企業債残高は37.7億円となりました。

○ 財政状況

(単位:億円)

	5年度	4年度	増△減
工業用水道料金収入	27.8	28.4	△ 0.6
純利益	6.4	7.3	△ 0.9
累積資金残額	30.0	36.8	△ 6.8
企業債残高	37.7	35.8	1.9

(参考)水道事業の主な取組み

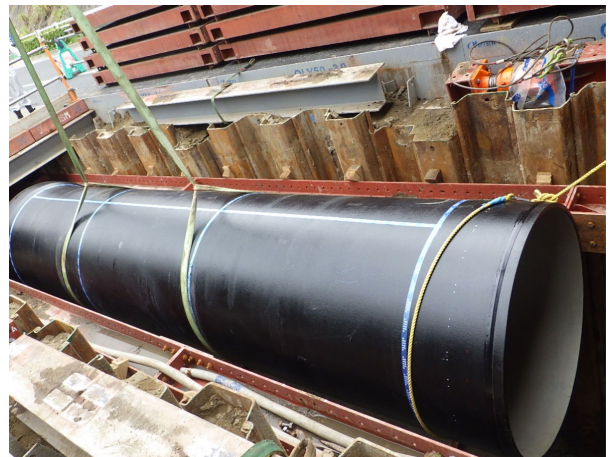
● 水道施設の更新・耐震化を進めています

令和6年能登半島地震では、水道施設が被害を受け、広範囲で長期間の断水が発生しました。

横浜市では、これまでも浄水場や配水池などの基幹施設や送配水管の更新・耐震化を計画的に進めてきました。

また、施設の耐震化とともに、水源水質の悪化や水利権水量の全量処理に対応するため、西谷浄水場の再整備にも取り組んでいるところです。

更新・耐震化にあたっては、将来の給水量の減少を踏まえたポンプ能力等の見直しや管口径のダウンサイジングなど工事コストの縮減を進め、持続可能な水道事業運営を目指しています。



大口径管路更新工事



西谷浄水場(R14年度完成予想図)

水道施設の耐震化率等の状況

	横浜市 (5年度末)	全国平均 (令和4年度末)
浄水施設の耐震化率	51%	43%
配水池等の耐震化率	96%	64%
基幹管路の耐震適合率※	72%	42%

※ 耐震管に、地盤の性状を勘案して耐震性があると評価できる管を加えて算出した割合

お問合せ先

(水道事業会計に関すること) 水道局 経理課長 大矢 雅幸 Tel 045-671-3129
(工業用水道事業会計に関すること) 水道局 工業用水課長 尾和 弘朗 Tel 045-954-3331

令和5年度決算速報

横浜市水道事業会計

横浜市工業用水道事業会計

【資料編】

令和6年7月

横浜市水道局

目次

水道事業会計

- 1 水道料金収入の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 有収水量と給水戸数、水道料金収入の状況
- 2 企業債残高の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 企業債残高の推移
- 3 関連資料 水道事業会計 決算概要表・・・・・・・・・・・・ 2
 損益計算書・・・・・・・・・・・・・・ 3
 貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・ 3

工業用水道事業会計

- 4 関連資料 工業用水道事業会計 決算概要表・・・・・・・・・・・・ 4
 損益計算書・・・・・・・・・・・・・・ 5
 貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・ 5

1 水道料金収入の状況

《有収水量と給水戸数、水道料金収入の状況》

	5年度 ①	4年度 ②	増減①－②	増減率(%)
有収水量(m ³)	372,813,961	374,665,430	△1,851,469	△0.49%
給水戸数(戸)	1,952,862	1,939,135	13,727	0.71%
水道料金収入(百万円)	76,553	76,386	167	0.2%

※有収水量は水道料金収入の対象となった水量です。

2 企業債残高の状況

《企業債残高の推移》

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
企業債残高 (億円)	1,685	1,645	1,607	1,562	1,539	1,524	1,543	1,546	1,583	1,656
水道料金収入に対する 企業債残高の割合	2.58倍	2.53倍	2.49倍	2.41倍	2.38倍	2.39倍	2.44倍	2.30倍	2.28倍	2.38倍

関連資料

令和5年度水道事業会計決算概要表（対前年度比較：税込）

（単位：百万円，％）

区 分		令和5年度決算額		令和4年度決算額		増 △ 減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	伸び率	
収 入	水道料金	76,553	82.2	76,386	82.0	167	0.2	
	他会計繰入金	6,420	6.9	6,302	6.8	118	1.9	
	浄水受託収益	1,734	1.9	1,729	1.9	5	0.3	
	水道利用加入金	1,328	1.4	1,377	1.5	△49	△3.6	
	長期前受金戻入	4,869	5.2	4,941	5.3	△72	△1.5	
	その他	2,251	2.4	2,385	2.6	△134	△5.6	
	計	93,156	100.0	93,120	100.0	36	0.0	
	支 出	人件費	11,374	14.0	11,181	14.0	193	1.7
		物件費等	26,779	32.8	26,330	32.9	449	1.7
		動力費	2,936	3.6	3,467	4.3	△531	△15.3
薬品費		540	0.7	531	0.7	9	1.8	
修繕費等		11,998	14.7	11,080	13.7	918	8.3	
委託料		7,401	9.1	6,907	8.6	494	7.1	
消費税及び地方消費税		433	0.5	1,155	1.4	△722	△62.5	
その他		3,471	4.2	3,190	4.0	281	8.8	
企業団受水費		17,037	20.9	16,606	20.8	431	2.6	
減価償却費等		24,282	29.8	23,866	29.8	416	1.7	
支払利息等	2,047	2.5	2,019	2.5	28	1.4		
計	81,519	100.0	80,002	100.0	1,517	1.9		
収益的収支差引	11,636	—	13,118	—	△1,482	△11.3		
消費税等調整額	3,484	—	2,892	—	592	20.5		
純損益	8,152	—	10,226	—	△2,074	△20.3		
資 本 的 収 入	企業債	18,405	81.9	12,293	71.1	6,112	49.7	
	一般会計出資金	2,022	9.0	3,339	19.3	△1,317	△39.4	
	工事負担金等	1,137	5.1	1,259	7.3	△122	△9.7	
	国庫補助金等	902	4.0	392	2.3	510	130.0	
	その他	7	0.0	7	0.0	0	△6.6	
	計	22,473	100.0	17,290	100.0	5,183	30.0	
	支 出	建設改良費	42,006	79.1	35,341	80.5	6,665	18.9
		基幹施設整備事業費	12,967	24.4	6,637	15.1	6,330	95.4
		配水管整備事業費	27,220	51.2	27,378	62.4	△158	△0.6
		その他建設改良費	1,819	3.4	1,326	3.0	493	37.2
企業債償還金		11,096	20.9	8,548	19.5	2,548	29.8	
投資		36	0.1	12	0.0	24	212.8	
計	53,138	100.0	43,900	100.0	9,238	21.0		
資本的収支差引	△30,665	—	△26,609	—	△4,056	△15.2		
純損益	8,152	—	10,226	—	△2,074	—		
消費税等調整額	3,484	—	2,892	—	592	—		
当年度分損益勘定留保資金	20,250	—	19,831	—	419	—		
資本的収支差引再計	△30,665	—	△26,609	—	△4,056	—		
退職手当支給額	△151	—	△857	—	706	—		
前年度からの繰越資金	7,380	—	5,394	—	1,986	—		
翌年度への繰越資金	△4,996	—	△7,380	—	2,384	—		
計（当年度資金収支）	3,455	—	3,497	—	△42	—		
総差引	3,455	—	3,497	—	△42	—		
前年度末資金残額	21,778	—	18,281	—	3,497	—		
累積資金残額	25,233	—	21,778	—	3,455	—		

（※）金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。構成比は円単位で計算しています。

関連資料

令和5年度横浜市水道事業損益計算書（要旨）

（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

（単位 百万円）

1	営業収益	78,563	
	うち水道料金収入	(69,602)	
2	営業費用	<u>75,057</u>	
	営業利益		3,507
3	営業外収益	6,763	
4	営業外費用	2,117	4,646
	経常利益		8,152
	当年度純利益		8,152
	前年度繰越利益剰余金		0
	その他未処分利益剰余金変動額		<u>4,697</u>
	当年度未処分利益剰余金		<u><u>12,850</u></u>

令和5年度横浜市水道事業貸借対照表（要旨）

（令和6年3月31日）

（単位 百万円）

科 目	金 額	科 目	金 額
1 固定資産	629,157	1 固定負債	176,118
(1)有形固定資産	542,660	2 流動負債	46,489
(2)無形固定資産	9,678	3 繰延収益	67,685
(3)投資その他の資産	76,819		
2 流動資産	64,300	負債合計	290,292
		1 資本金	370,868
		2 剰余金	32,297
		(1)資本剰余金	2,366
		(2)利益剰余金	29,931
		うち当年度未処分利益剰余金	12,850
		資本合計	403,164
資産合計	693,456	負債・資本合計	693,456

※金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。

したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。

関連資料

令和5年度工業用水道事業会計決算概要表（対前年度比較：税込）

（単位：百万円，％）

区 分		令和5年度決算額		令和4年度決算額		増 △ 減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	伸び率	
収 入	工業用水道料金	2,776	91.3	2,838	92.6	△ 62	△2.2	
	長期前受金戻入	191	6.3	205	6.7	△ 14	△6.7	
	その他の他	73	2.4	21	0.7	52	243.7	
	計	3,040	100.0	3,064	100.0	△ 24	△0.8	
	支 出	人件費	223	10.2	226	10.4	△ 4	△1.6
		物件費等	982	45.1	1,020	46.8	△ 38	△3.8
		負担金	929	42.7	965	44.3	△ 36	△3.7
		修繕費等	1	0.1	1	0.0	0	15.4
		その他の他	51	2.3	54	2.5	△ 3	△4.9
		減価償却費等	931	42.8	892	41.0	39	4.4
支 払	支払利息等	42	1.9	39	1.8	3	7.0	
	計	2,177	100.0	2,177	100.0	0	0.0	
支 差	収益的収支差引	863	—	887	—	△ 24	△2.7	
	消費税等調整額	220	—	158	—	62	39.2	
	純損益	643	—	729	—	△ 86	△11.8	
資 本 的 収 入	企業債	437	77.8	502	78.0	△ 65	△12.9	
	国庫補助金等	125	22.2	45	7.0	80	177.8	
	その他の他	0	0.0	96	15.0	△ 96	△100.0	
	計	562	100.0	643	100.0	△ 81	△12.7	
	支 出	建設改良費	2,451	90.9	1,867	88.3	584	31.3
工業用水道施設整備事業費		2,089	77.4	1,633	77.1	456	27.9	
その他建設改良費		362	13.4	234	11.2	128	54.7	
企業債償還金等		246	9.1	247	11.7	△ 1	△0.4	
計	2,698	100.0	2,115	100.0	583	27.6		
資本的収支差引	△ 2,136	—	△ 1,471	—	△ 664	△45.2		
資 金 収 支	純損益	643	—	729	—	△ 86	—	
	消費税等調整額	220	—	158	—	62	—	
	当年度分損益勘定留保資金	745	—	707	—	38	—	
	資本的収支差引再計	△ 2,136	—	△ 1,471	—	△ 664	—	
	退職手当支給額	△ 3	—	△ 17	—	14	—	
	前年度からの繰越資金	1,189	—	906	—	283	—	
	翌年度への繰越資金	△ 1,340	—	△ 1,189	—	△ 151	—	
計（当年度資金収支）	△ 680	—	△ 176	—	△ 504	—		
前年度末資金残額	3,684	—	3,861	—	△ 176	—		
累積資金残額	3,004	—	3,684	—	△ 680	—		

（※）金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。構成比は円単位で計算しています。

関連資料

令和5年度横浜市工業用水道事業損益計算書（要旨）

（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

（単位 百万円）

1	営業収益	2,525	
	うち 工業用水道料金収入	(2,524)	
2	営業費用	2,047	
	営業利益		478
3	営業外収益	207	
4	営業外費用	42	165
	経常利益		643
	当年度純利益		643
	前年度繰越利益剰余金		0
	その他未処分利益剰余金変動額		1,324
	当年度未処分利益剰余金		1,967

令和5年度横浜市工業用水道事業貸借対照表（要旨）

（令和6年3月31日）

（単位 百万円）

科 目	金 額	科 目	金 額
1 固定資産	23,947	1 固定負債	3,825
(1)有形固定資産	23,935	2 流動負債	823
(2)無形固定資産	11	3 繰延収益	3,902
(3)投資その他の資産	1		
2 流動資産	4,925	負債合計	8,551
		1 資本金	15,854
		2 剰余金	4,468
		(1)資本剰余金	140
		(2)利益剰余金	4,327
		うち当年度未処分利益剰余金	1,967
		資本合計	20,322
資産合計	28,872	負債・資本合計	28,872

※金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。

したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。